

東北地方の交通に関する最近の主な動向

1. 広域ネットワーク関係

東北新幹線盛岡 - 八戸間の開業による効果

- ・ 東北新幹線盛岡 - 八戸間の開業後1年間の輸送人員は、前年比約5割増
- ・ 開業に伴う二次交通アクセス改善により津軽方面などへの輸送人員も増加
- ・ 高速バスの一部、航空については、輸送人員の大幅な減少も見られた

図表1「東北新幹線盛岡 - 八戸間開業後の輸送状況」参照

東北新幹線八戸 - 新青森間の工事も着実に進捗

高速バス(15年)は、長距離便(青森・秋田～首都圏)は概ね減少、管内中距離便(仙台～青森・岩手・秋田)は、仙台～八戸を除き概ね横ばい。中距離東京便(仙台～東京)は増加。また、短距離便(仙台～山形・福島)の輸送人員(15年度)は増。

なお、15年に新たに開設された路線は、仙台群馬線など7路線、事業者数は4社増であり、便数は250便増の1000便となった。

図表2「高速バスの輸送状況」参照

航空旅客の国際線(15年)は、SARSの発生、仙台～ホノルル便、仙台～香港便の運休等の影響もあり、約3割の減少。

航空旅客の国内線(15年)も、減少。

図表3「空港乗降客数」参照

空港アクセスに関しては、秋田空港と周辺観光地を結ぶ乗合タクシー「あきたエアポートライナー」の拡充など空港アクセスが充実。

また、仙台空港アクセス鉄道は、16年3月に空港敷地外も着工になるなど、着実に整備が進捗。

2. 都市交通関係

仙台市は、地下鉄・乗合バス(いずれも15年)とも輸送人員は、減少。

図表4「仙台市地下鉄・バスの輸送状況」参照

仙台市地下鉄東西線は、15年9月に事業許可されるなど、整備に向けた動きが進捗。

仙台市「100円パッ区」が15年10月より、エリア拡大の上、本格運行に移行するなど、TDM(交通需要マネジメント)施策が進捗。

3. 地域交通関係

中小民鉄・第三セクター鉄道、乗合バス及び離島航路（15年。離島航路のみ15年度）は、いずれも輸送人員の減少が続く。

[図表5「中小民鉄・第三セクター鉄道の輸送人員」](#)参照

[図表6「乗合バスの輸送人員」](#)参照

[図表7「旅客船（離島航路）の輸送人員」](#)参照

交通空白地帯の代替交通手段として、デマンド型乗合タクシーなどの新たな取り組みの普及が進む。

[図表8「デマンド型乗合タクシーの概要及び普及状況」](#)参照

4. その他

(1) バリアフリー化関係

交通バリアフリー法に基づく「基本構想」を策定した地方公共団体は6市（15年度末）。

[図表9「東北運輸局管内における基本構想の策定状況」](#)参照

15年度の鉄道施設のバリアフリー化（EV・ES設置）は、仙台駅、下馬駅、盛岡駅で実施。

16年度は、福島駅など7駅で予定。

低床バス（ノンステップバス等）は15年度に42台導入（管内合計）。

[図表10「低床バスの導入状況」](#)参照

(2) 環境対策関係

低公害車の導入台数（15年9月時点）は、397,798台で、全車両の9.5%。

[図表11「低公害車普及状況」](#)参照

15年9月に、奥入瀬溪流において、マイカー規制の実証実験を実施（2日間）。

(3) 物流関係

鉄道貨物輸送量（15年）は、コンテナが増加したものの総じて減少。

貨物自動車輸送量及び港湾運送取扱量（15年）も、減少。

外貿コンテナ取扱数（15年）は、アジア便が好調であったことから、各港とも増加。また、16年4月から秋田-釜山の定期航路が週1便増。

[図表12「貨物輸送量の状況」](#)参照

15年11月に東北地方の取り組みが「環境負荷の小さい物流体系の構築を目指す実証実験補助制度」に認定されるなど、モーダルシフトの取り組みが進捗。

以上

図表1 「東北新幹線盛岡 - 八戸間開業後の輸送状況」

東北新幹線	盛岡～八戸	[輸送人員]		前年比	150.9 %
JRアクセス特急	八戸～青森	[輸送人員]		前年比	125.6 %
	青森～弘前	[輸送人員]		前年比	167.5 %
中小民鉄	津軽鉄道	[輸送人員]	507,000 人	(前年比)	94.6 %
	弘南鉄道	[輸送人員]	2,800,000 人	(前年比)	95.4 %
	十和田観光電鉄	[輸送人員]	638,000 人	(前年比)	91.3 %
	計	[輸送人員]	3,945,000 人	(前年比)	94.6 %
第三セクター線	青い森鉄道	[輸送人員]	747,000 人	(前年比)	- %
	I G Rいわて銀河鉄道	[輸送人員]	5,327,000 人	(前年比)	- %
	計	[輸送人員]	6,074,000 人	(前年比)	- %
バス	八戸～十和田湖(おいらせ)	[輸送人員]	39,750 人	(前年比)	- %
	八戸～十和田湖(活彩とわだこ)	[輸送人員]	16,862 人	(前年比)	- %
	八戸～下北(活彩しもきた)	[輸送人員]	1,039 人	(前年比)	- %
	大湊～下北(下北味覚コース等)	[輸送人員]	2,612 人	(前年比)	- %
	八戸～八戸市中心部	[輸送人員]	43,963 人	(前年比)	- %
	八戸～八食センター	[輸送人員]	113,194 人	(前年比)	- %
	二戸～久慈	[輸送人員]	58,339 人	(前年比)	- %
計	[輸送人員]	275,759 人	(前年比)	- %	
観光タクシー		[輸送人員]	6,574 人	(前年比)	- %
タクシー	八戸市内	[輸送回数]	3,750,025 回	(前年比)	99.5 %
	青森市内	[輸送回数]	6,979,447 回	(前年比)	94.0 %
	計	[輸送回数]	10,729,472 回	(前年比)	95.9 %
高速バス	盛岡～八戸	[輸送人員]	20,789 人	(前年比)	94.7 %
	盛岡～青森	[輸送人員]	48,914 人	(前年比)	100.2 %
	盛岡～弘前	[輸送人員]	194,769 人	(前年比)	69.0 %
	八戸～弘前	[輸送人員]	15,897 人	(前年比)	89.5 %
	仙台～青森	[輸送人員]	70,980 人	(前年比)	94.1 %
	仙台～八戸	[輸送人員]	44,725 人	(前年比)	76.3 %
	仙台～弘前	[輸送人員]	97,406 人	(前年比)	98.9 %
計	[輸送人員]	493,480 人	(前年比)	81.6 %	
旅客船	十和田湖遊覧船	[輸送人員]	409,801 人	(前年比)	103.2 %
	八戸～苫小牧	[輸送人員]	315,762 人	(前年比)	95.1 %
	八戸～室蘭	[輸送人員]	39,519 人	(前年比)	95.3 %
	青森～函館	[輸送人員]	686,637 人	(前年比)	97.0 %
	青森～室蘭	[輸送人員]	74,958 人	(前年比)	92.7 %
	大間～函館	[輸送人員]	143,177 人	(前年比)	97.5 %
計	[輸送人員]	1,669,854 人	(前年比)	97.9 %	
航空	青森・東京便	[輸送人員]	929,196 人	(前年比)	91.2 %
	三沢・東京便	[輸送人員]	258,153 人	(前年比)	59.8 %
	計	[輸送人員]	1,187,349 人	(前年比)	81.9 %
宿泊	八戸市内ホテル	[宿泊人員]	397,673 人	(前年比)	113.5 %
	十和田湖畔温泉内宿泊施設	[宿泊人員]	207,695 人	(前年比)	120.4 %
	計	[宿泊人員]	605,368 人	(前年比)	115.8 %
観光イベント	十和田湖冬物語	[入込客数]	252,405 人	(前年比)	194.0 %
	八戸えんぶり	[入込客数]	324,000 人	(前年比)	122.3 %
	弘前雪燈籠まつり	[入込客数]	290,000 人	(前年比)	120.8 %
	弘前桜まつり	[入込客数]	2,070,000 人	(前年比)	376.4 %
	青森ねぶた祭り	[入込客数]	3,630,000 人	(前年比)	102.3 %
	八戸三社大祭	[入込客数]	893,000 人	(前年比)	158.6 %
	弘前ねぶたまつり	[入込客数]	1,730,000 人	(前年比)	116.9 %
	五所川原立佞武多	[入込客数]	1,380,000 人	(前年比)	112.7 %
計	[入込客数]	10,569,405 人	(前年比)	135.2 %	

[輸送人員] [入込客数] は平成14年12月～15年11月の合計

図表2 「高速バスの輸送状況」

単位：千人

長距離便	11年	12年	13年	14年	15年	対前年比
青森～東京	54.5	56.8	61.7	60.9	47.7	78.3%
弘前～品川	38.6	40.2	40.1	42.8	38.2	89.3%
五所川原～品川	33.6	33.3	34.9	36.1	32.4	89.8%
弘前～横浜	17.9	18.9	19.1	19.0	17.8	93.7%
八戸～東京	64.5	65.5	66.7	64.6	42.3	65.5%
秋田～新宿			77.4	28.7	31.6	110.1%

管内中距離便	11年	12年	13年	14年	15年	対前年比
仙台～青森	48.8	59.4	63.3	75.5	71.3	94.4%
仙台～弘前	58.4	75.4	91.2	98.3	97.8	99.5%
仙台～八戸	54.1	55.9	55.8	57.4	44.4	77.4%
仙台～盛岡	191.1	192.5	198.7	215.9	233.0	107.9%
仙台～秋田			88.5	120.3	121.2	100.7%

中距離東京便	11年	12年	13年	14年	15年	対前年比
仙台～浜松町	31.1	29.6	28.7	35.4	31.2	88.1%
仙台～新宿	47.5	54.4	56.7	74.2	108.9	146.8%

近距離便	14年度	15年度	対前年比
仙台～山形	766.8	821.0	107.1%
仙台～福島	338.1	484.0	143.2%

図表3 「空港乗降客数」

単位：千人

青森空港	11年	12年	13年	14年	15年	対前年比
国 際	39	45	39	43	34	79.1%
国 内	1,610	1,571	1,512	1,561	1,428	91.5%

花巻空港	11年	12年	13年	14年	15年	対前年比
国 内	527	520	503	504	496	98.4%

仙台空港	11年	12年	13年	14年	15年	対前年比
国 際	405	466	419	396	275	69.4%
国 内	2,945	2,821	2,826	2,938	2,904	98.8%

福島空港	11年	12年	13年	14年	15年	対前年比
国 際	34	82	89	78	45	57.7%
国 内	699	628	577	533	512	96.1%

秋田空港	14年	15年	対前年比
国 際	39	28	71.8%
国 内	1,286	1,322	102.8%

大館能代空港	14年	15年	対前年比
国 内	170	175	102.9%

山形空港	14年	15年	対前年比
国 内	282	243	86.2%

庄内空港	14年	15年	対前年比
国 内	378	394	104.2%

各空港合計	14年	15年	対前年比
国 際	556	382	68.7%
国 内	7,652	7,474	97.7%

図表4 「仙台市地下鉄・バスの輸送状況」

単位：千人

仙台市地下鉄輸送人員	11年	12年	13年	14年	15年	対前年比
	56,651	56,955	57,549	55,453	54,680	98.6%

仙台市営バス輸送人員	11年	12年	13年	14年	15年	対前年比
	65,508	50,555	49,509	46,275	42,528	91.9%

図表5 「中小民鉄・第3セクター鉄道の輸送人員」

単位：千人

中小民鉄・第3セクター鉄道輸送人員	13年	14年	15年	対前年比
	15,470	14,517	13,786	95.0%

14年12月から開業した青い森鉄道、岩手銀河鉄道を除く管内全事業者の合計

図表6 「乗合バスの輸送人員」

単位：千人

乗合バス輸送人員	11年	12年	13年	14年	15年	対前年比
青森市交通部	17,057	12,998	12,277	11,590	11,131	96.0%
岩手県交通(株)	32,843	24,516	23,475	22,581	21,892	96.9%
仙台市交通局	65,508	50,555	49,506	46,275	42,528	91.9%
宮城交通(株)	36,834	28,449	28,439	26,859	27,747	103.3%
福島交通(株)	24,254	18,644	17,605	16,525	15,646	94.7%
秋田中央交通(株)				8,623	9,078	105.3%
山交バス(株)				9,806	9,261	94.4%

管内各県とも代表的な事業者(1~2社)の輸送人員

図表7 「旅客船(離島航路)の輸送人員」

単位：千人

離島航路輸送実績	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	対前年比
塩竈市(宮城県)	251	240	235	217	201	92.6%
牡鹿町(宮城県)	63	49	40	30	22	73.3%
江島汽船(有)(宮城県)	20	19	19	17	16	94.1%
丸中金華山汽船(株)(宮城県)	87	87	90	75	73	97.3%
下北汽船(株)(青森県)	17	16	16	14	12	85.7%
網地島ライン(株)(宮城県)	60	61	58	53	44	83.0%
唐桑汽船(株)(宮城県)	37	33	30	27	22	81.5%
酒田市(山形県)	42	37	37	38	35	92.1%

図表8 「デマンド型乗合タクシーの概要及び普及状況」

1. デマンド型乗合タクシーの概要

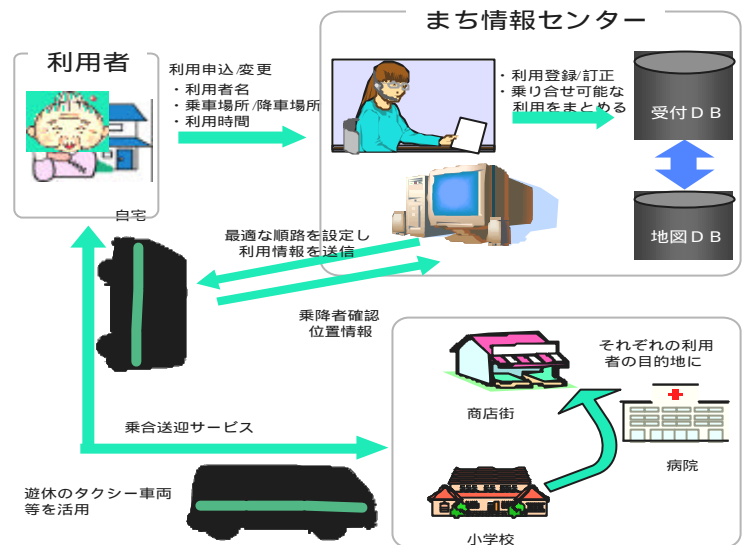
タクシーの特性である自宅から目的箇所までのドア・ツウ・ドアサービスの利便性を維持
バスと同じ乗合方式と自治体の補助で運賃を低廉化

高齢者を中心として利用ニーズが高く、需要に限度のある地域に適した交通システム

デマンド型乗合タクシーを最初に導入して試験運行を開始した福島県小高町の「おだか e - まちタクシー」は、地元住民から好評で地域の足として定着。

福祉バス等を自ら運行することに比べ自治体の負担も少なく、同町には全国から視察が相次いでいる。

「おだか e-まちタクシー」使用車両
(ジャンボタクシー)



「おだか e-まちタクシー」運行イメージ

2. デマンド型乗合タクシーの普及状況 (東北運輸局管内)

自治体名 (愛称)	福島県小高町 (おだか e-まち タクシー)	福島県保原町 (ほばらまちな かタクシー のってみっかー)	福島県浪江町 (なみえ e-まち タクシー ぐるりんこ)	福島県双葉町 (ふたばふれあ いタクシー)	福島県大熊町 (おおくま i ま ちタクシー あいくる)	岩手県雫石町 (しずくいしデ マンドタクシ ー) 仮称
運行開始年月	13年6月	15年3月	15年6月	15年11月	16年1月	16年4月
人口	13,499人	24,712人	22,113人	7,402人	10,923人	19,359人
高齢化率	26.3%	21.8%	23.5%	23.0%	19.7%	23%
面積	92km ²	42km ²	223km ²	51km ²	79km ²	609km ²
使用車両	ジャンボ 2台 小型 2台	ジャンボ 1台 小型 3台	ジャンボ 2台 小型 2台	ジャンボ 2台 小型 2台	ジャンボ 2台 小型 2台	ジャンボ 2台 小型 4台
運賃	300円 (まちなか100円)	300円 (まちなか200円)	300円 (まちなか100円)	300円 (まちなか100円)	300円 (まちなか100円)	300~400円 高齢者等200円
収支計算及び地元補助 に対する考え方	地元商工会・自治 体が欠損額補助	町、商工会、住民、 事業者等で協議	商工会との契約	商工会との契約	商工会との契約	町がNPO法人に 補助(委託契約)

人口関係のデータは、「福島県現住人口調査月報」、「岩手県毎月人口推計」による。

図表9 「交通バリアフリー法に基づく基本構想の策定状況」

作成した市町村	6〔7〕
協議会を設置し、作成を開始した市町村	3
16年度中に作成に着手する市町村	1
時期は未定であるが、作成する予定のある市町村	56
上記以外で一日当たりの利用者数が5,000人以上の駅がある市町村	10

平成15年度末現在。〔 〕は基本構想の数。

図表10 「低床バスの導入状況」

【低床バス(ノンステップバス)の導入状況】

単位:台

	平成12年度		平成13年度		平成14年度		平成15年度	
青森県	28		31		19		11	
岩手県	12		21		13	(3)	16	(2)
宮城県	28	(1)	27	(1)	26	(4)	0	(5)
秋田県	10		27		25		0	
山形県	9	(4)	11	(8)	4	(4)	0	(3)
福島県	11	(1)	17	(3)	13	(7)	15	(4)
合計	98	(6)	134	(12)	100	(18)	42	(14)

交通バリアフリー法がH12年5月成立であることから、平成11年度は調査していない。
()は、ノンステップバスで内数。

図表11 「低公害車普及状況」

【低公害車の普及比率】

	14年3月末	14年9月末	15年3月末	15年9月末
青森県	2.8%	4.0%	5.9%	7.4%
岩手県	3.2%	4.6%	6.8%	8.4%
宮城県	4.0%	5.7%	8.5%	10.6%
秋田県	3.5%	5.1%	7.6%	9.6%
山形県	4.0%	5.8%	8.6%	10.6%
福島県	3.5%	5.2%	7.7%	9.6%
合計	3.5%	5.1%	7.6%	9.5%



【低公害車の普及状況(平成15年9月末現在)】

単位:台

	電気	メタノール	CNG	ハイブリット	低燃費かつ低排出ガス認定車	合計	登録車保有車両数
青森県	1	0	0	790	42,850	43,641	592,698
岩手県	4	0	0	946	48,336	49,286	584,846
宮城県	11	0	112	2,012	107,022	109,157	1,029,389
秋田県	5	0	3	685	45,488	46,181	482,693
山形県	2	0	1	1,006	55,716	56,725	535,592
福島県	11	2	5	1,798	90,992	92,808	968,707
合計	34	2	121	7,237	390,404	397,798	4,193,925

図表12 「貨物輸送量の状況」

【鉄道貨物輸送量】

単位：千トン

	11年	12年	13年	14年	15年	対前年比
J R車扱	1,576	1,641	1,351	1,530	1,418	92.7%
J Rコンテナ	2,330	2,288	2,265	2,381	2,573	108.1%
民 鉄	4,842	4,671	4,302	4,618	4,118	89.2%

【貨物自動車輸送量】

単位：千トン(宅配貨物のみ：千個)

	11年	12年	13年	14年	15年	対前年比
特別積合せトラック	3,712	3,699	4,156	3,875	3,866	99.8%
宅配貨物	67,367	69,673	71,107	89,448	88,344	98.8%
一般トラック	18,425	18,197	18,142	25,879	24,833	96.0%

【港湾運送取扱量】

単位：千トン

	11年	12年	13年	14年	15年	対前年比
八戸港	9,263	9,537	9,293	9,199	8,576	93.2%
仙台・塩釜港(仙台港区)	8,735	9,384	9,370	9,449	9,303	98.5%
小名浜港	6,095	9,431	6,010	6,046	6,026	99.7%
秋田船川港	3,444	3,609	3,365	3,784	3,712	98.1%
酒田港	2,181	2,199	2,246	2,170	2,098	96.7%

【外貿コンテナ取扱数】

単位：TEU

	11年	12年	13年	14年	15年	対前年比
八戸港	13,149	15,100	16,391	16,931	17,238	101.8%
仙台・塩釜港(仙台港区)	26,216	32,956	40,264	51,386	59,479	115.7%
小名浜港	9,838	11,032	7,385	10,363	11,640	112.3%
秋田船川港				23,065	25,286	109.6%
酒田港				4,273	5,397	126.3%

TEU=20フィートコンテナ換算